

平成21年第3回大仙市議会定例会

市 政 報 告

平成21年8月25日
大仙市長 栗林次美

本日、平成21年第3回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

今次定例会でご審議をお願いいたします案件は、条例案12件、単行案8件、補正予算案7件、決算認定2件の合計29件のほか、準備が整い次第、市道認定に関する単行案1件と一般会計補正予算案1件を追加提案する予定であります。

各案件につきまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

なお、この場をお借りいたしまして、主要事業の進捗状況並びに諸般の状況をご報告させていただきたいと存じますが、その前に、市教育委員会職員の飲酒運転について、また、土地区画整理法に基づく評価員の選任に関する手続きの不備について、ご報告申し上げます。

はじめに、去る8月2日未明に発生した、市教育委員会西仙北学校給食センター技能主席の飲酒運転による自損事故につきましては、議員の皆様をはじめ市民の皆様にも多大なご迷惑をおかけいたしました。ここに深くお詫び申し上げますと存じます。本人は現在入院治療中ではありますが、退院後、所要の調査を行った上で対応を検討することとしております。

日頃から公務員としての自覚のもと、飲酒運転は絶対しないよう指導してきたところではありますが、再び発生してしまったことを重く受け止め、さらに厳しく職員に対し指導してまいりたいと考えております。

続いて、土地区画整理法に基づく評価員の選任についてであります。都市計画事業として土地区画整理事業を施行する場合は、土地又は建築物を評価する評価員を、審議会の同意を得て選任することになっております。大曲駅前第二地区土地区画整理事業においては、5人の評価員を選任することになっておりますが、今般この中の1人について審議会の同意を得ないまま後任者を選任し、平成16年6月から評価員会を開催していたことが判明しております。

このことから、これまで開いた評価員会の審議結果の効力について弁護士に相談したところ、「無効にはならない」との助言をいただいておりますが、評価員の選任手続きに瑕疵があったことは、誠に遺憾であり、今後速やかに審議会を開催し、経緯等を説明して謝罪するとともに、評価員の追認をしていただ

きたいと考えております。

次に、懸案となっておりました仙北組合総合病院の改築についてご報告申し上げます。

仙北組合総合病院の改築問題につきましては、これまで議員の皆様のご質問にお答えしながら、状況をご報告してきたところであります。

平成18年5月、当時の秋田県厚生連経営管理委員会会長の「仙北組合総合病院の10年以内の開院を目指す」とする発言や、平成19年度の秋田県の「仙北組合総合病院の平成26年度開院を目標とする秋田県厚生連への新たな支援策」などにより病院改築が進むものと考えておりましたが、秋田県厚生連の財務状況等から病院の改築計画が示されず、現在に至っております。

大仙市民が安心して暮らせる医療環境を確保するためには、仙北組合総合病院の改築は不可欠であり、これを圏域全体の課題と捉え、これまで仙北市長、美郷町長ともご相談しながら、秋田県や秋田県厚生連等と協議を重ねてきたところでありますが、多くの事業費を要することなどから、なかなか方向性を見出せずしております。

本年6月、厚生労働省から「都道府県が地域の医療課題の解決に向けて策定する地域医療再生計画に基づいて行う、医療圏単位での医療機能の強化、医師等の確保等の取り組みを支援する」とする「地域医療再生計画作成指針」が示され、国では平成21年度補正予算に地域医療再生臨時特例交付金を確保し、都道府県に交付するとしております。

国の計画では、基準額100億円を10医療圏、基準額30億円を70医療圏とし、全国で80医療圏を目途に3,100億円を予算措置しております。

地域医療再生計画は、県が二次医療圏を対象に策定し国に提出するものでありますので、中核病院の整備が遅れている当大曲仙北二次医療圏を対象に、地域医療再生計画を策定し国に提出してくださるよう県に強く要望しております。

市といたしましては、この機会に仙北組合総合病院の改築を推進すべく、企画部内に「重点政策推進室」を設置し、秋田県及び秋田県厚生連等関係機関と協議を進め、この交付金を活用し病院改築の実現を図るべく、最大限の努力を

いたしたいと考えております。

仙北組合総合病院の改築は、大仙市民のみならず仙北市、美郷町に住む人々にとっても安心して暮らせる地域となるための最優先の課題として捉えており、病院改築が実現するよう市民及び市議会のご支援をお願いいたします。

なお、関連予算について現在積算作業を進めておりますので、準備が整い次第、追加提案させていただきたいと存じます。

それでは、各部局ごとの主要事業の進捗状況等についてご報告させていただきます。

はじめに、総務部関係について申し上げます。

職員採用試験につきましては、一般行政事務10名程度、一級建築士等建築・土木の技術系職員若干名の募集に対し、176人の受験申し込みがあり、9月6日に大曲交流センターを会場として一次試験を実施いたします。

新型インフルエンザにつきましては、感染者の増加により県内における感染段階の基準が「発生初期」から「感染拡大期」に移行されております。市といたしましては、去る7月21日、秋田県及び大曲仙北医師会並びに仙北組合総合病院と、大仙市発熱外来センター設置時における協定を締結させていただき、医師を含む医療従事者の派遣要請に関する事項のほか、医療品の取り扱いなどについて相互に協力することを確認しており、秋冬に予想される「第2波」に備えることとしております。

今後とも医師会をはじめとする関係機関と密接な連携をとりながら、適切かつ柔軟な対応をしてまいりますので、市民の皆様におかれましては、むやみに恐れず、冷静な対応をとられますようお願い申し上げます。

次に、企画部関係についてであります。

非核平和都市宣言事業につきましては、本年度は大曲駅東口に新たに非核平和宣言塔を設置したほか、7月28日から30日まで、市内の中学生6人を非核平和レポーターとして広島市に派遣しております。レポーターは、現地で核兵器の恐ろしさと平和の尊さについて学び、その成果を8月9日に大曲市民会

館で開催された「非核平和映写会」で発表しております。

また、特別企画として、「非核平和映写会」を挟んだ8月4日から16日までの期間、本市出身でアニメ映画の美術監督として活躍されている男鹿和雄氏が広島・長崎の平和への思いを描いた絵のピエゾグラフ30点を大曲市民会館大ホール入口に展示したところであり、会場を訪れた市民とともに平和への誓いを新たにしております。

定額給付金事業につきましては、8月20日現在の申請数は3万520世帯であり、申請率は98.67%となっております。まだ申請をされていない市民の皆様に対しましては、引き続き市広報等を通じ周知を図るほか、個別に連絡をとるなどして、申請期限の9月16日までにできるだけ多くの方から申請していただけるよう努めてまいります。

小規模集落コミュニティ対策につきましては、6月に市内の全町内会・自治会等の会長を対象に、コミュニティ活動の現状や今後必要と思われる支援等についてのアンケート調査を実施したほか、7月には西仙北、協和及び南外地域における高齢化率の高い小規模集落等で座談会を開催し、集落での課題などについて意見交換を行っております。

西仙北インターチェンジにつきましては、3月に国土交通省に対し、ETC専用のスマートインターチェンジに転換するための事業申請書を提出していましたが、6月30日に国土交通大臣から事業許可をいただいております。今後、平成22年度中の供用開始に向け、東日本高速道路株式会社とともに施設整備を進めてまいります。

なお、インターチェンジの利用者増を図るため、市民及び市内事業所を対象に、新規にETC車載器を取り付けた車両1台につき3,000円の補助を実施しており、8月20日現在の受付台数は、市民411台、事業所23台となっております。

国際交流につきましては、昨年の大曲中学校生徒による友好交流都市、韓国唐津郡の湖西^{ほそ}中学校への訪問に続き、本年は8月20日から24日までの4泊5日の日程で、湖西中学校の生徒8人と引率教諭2人、郡担当者1人の合計11人が大曲中学校を訪れております。

一行は、大曲中学校生徒の自宅に全日程ホームステイし、一緒に登校して

授業や歓迎集会に参加するなど、日本のありのままの生活に触れるとともに、ホストファミリーと一緒に「大曲の花火」を鑑賞するなど、地域の文化や自然にも触れながら友好を深めております。

また、8月21日には、社団法人大曲青年会議所と姉妹交流をしている台湾中和国際青年商會の訪問団が大仙市役所を表敬訪問しております。本年で20年という節目を迎える相互の交流の中では、とりわけ2000年に行った「台北花火節」が両者の結びつきを一層強めたようではありますが、この交流が両地域はもとより両国の親善に寄与していることへの敬意を表しつつ、先般台湾を襲った台風の被災者に対するお見舞いを申し上げたところであります。

次に、市民生活部関係についてであります。

交通安全対策につきましては、これまで各地域で行われていた交通安全大会を継続発展させる形で、去る7月17日に大曲地域において第1回大仙市交通安全推進大会を開催しております。

大会では、県警カラーガード隊を先頭に各地域の交通安全関係団体など約500人がペアーレ大仙から大曲上大町まで交通安全啓発パレードを行い、交通安全を呼びかけました。その後、市民会館小ホールにおいて開催した式典には、約450人の出席をいただき、交通安全功労者12名と2団体並びに交通安全作品コンクール35作品を表彰したあと、チャイルドシートの着用など5項目からなる大会宣言を採択し、最後に犯罪被害相談員から基調講演を行っていただき、大会を盛会裡に終了しております。

消防団関係につきましては、平成21年度秋田県消防協会大仙市仙北市美郷町支部消防訓練大会において、小型ポンプ操法の部で大曲支団第2分団が優勝したほか、規律訓練の部では協和支団第5分団が優勝を果たしております。9月3日に由利本荘市で秋田県消防操法大会が開催されますが、大仙市消防団が秋田県大会の小型ポンプ操法の部に出場するのは、今回が初めてとなります。

環境学習事業につきましては、夏休み期間中に市内26小学校の4年生713人が「子どもエコチャレンジ」に、市内12中学校の生徒と一般家庭を合わせ約2,200世帯が「環境家族宣言」に、それぞれ取り組んでいるところであります。また、8月4日には、姫神公園において60人の参加により

「親子環境学習」が行われ、昆虫の生態や自然環境について学習したところでもあります。

大仙美郷クリーンセンターに搬入された平成20年度の本市のごみ量につきましては、家庭系が1万9,723t、事業系が1万1,519tであり、市民1人1日当たりのごみ量は、家庭系が前年度比12.5%減の586g、事業系が4.5%減の342gと、ごみの減量化が着実に市民に浸透してきている状況にあります。

大仙美郷環境事業組合旧ごみ焼却施設解体工事につきましては、7月23日に2億2,659万4,593円で三井住友建設株式会社東北支店と契約締結しており、工期は平成21年7月24日から平成22年7月30日までとなっております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

地域福祉推進市町村の指定を受け、国のモデル事業として実施する「安心生活創造事業」につきましては、一人暮らし高齢者等の生活支援や、災害時ににおける避難支援を必要とする方々の特定とそのニーズを把握するため、現在、地域の民生児童委員の協力を得て、70歳以上の約2万2,000人を対象に高齢者実態調査を実施しております。

また、11月下旬には、昨年度策定した「地域福祉計画」の市民への浸透を図るため、「地域福祉シンポジウム」を開催する予定であります。

7月末に完成した大花都市再生住宅1階フロアに開設の、子育てに関する相談・支援を行う「ひろば型の地域子育て支援施設」と、高齢者に関する相談や介護予防及び生きがい活動の場を提供する「高齢者生活相談所」につきましては、運営をNPO法人「大仙親と子の総合支援センター」に委託し、8月1日から業務を開始しており、順調なスタートを切っております。

なお、同施設の開設に当たっては、市民の皆様から親しんでいただくため広く愛称を募集しており、選考の結果「まるこのひろば」と決定しております。

第60回東北ろうあ者大会及び第36回東北地区手話問題研究大会が本市を会場に10月10日から12日まで開催される予定であります。大会期間中は、東北6県の聴覚障がい者等が一堂に会し、研究討議のほか市内の探訪や手

作り体験などが行われることになっており、関係者を含め700人程の参加者が予定されていることから、円滑な大会運営に向け、市としても支援してまいります。

次に、農林商工部関係についてであります。

稲作につきましては、7月以降気温が平年並みに推移したことから、出穂期は平年並みの8月4日でありましたが、穂数は1平方メートル当たり450本と平年比94%となっております。

7月18日から19日にかけての大雨により、西仙北地域と協和地域で約200haが冠水し、一部農業施設にも被害が確認されております。そのため、被害地域の収量への影響が懸念されることから、生育状況等に応じた防除などの肥培管理の徹底を呼びかけているところであります。

航空防除につきましては、昨年まで神岡地域において一部有人ヘリによる防除を実施していましたが、本年からは、すべて無人ヘリによる防除体制に移行しており、7月22日の協和地域から順次作業を開始し、8月25日までに各地域とも散布を終了しております。

野菜につきましても、長雨・日照不足が続いたことから、アスパラガス、エダマメ等の露地野菜を中心に育成にばらつきが見られ、収量も少なめとなっております。

農地・水・環境保全向上対策につきましては、7月5日に2回目となる大仙市、仙北市、美郷町で先進的な取り組みを行っている9組織を見学するイベント「仙北水土里紀行（みんなで見学、いろんな農地・水）」が県地域協議会仙北支部の主催で行われ、現地研修のほか大曲市民会館での意見交換会や交流会などに、延べ1,044人が参加しております。

畜産につきましては、7月26日に「第4回大仙・仙北・美郷畜産共進会」が大曲家畜市場を会場に開催され、管内から肉用牛64頭、乳用牛7頭、肥育牛8頭、家禽家兎^{かきんかと}30羽が出品され、そのうち17点が優等賞を受賞しております。本年は、隔年で開催されている第92回秋田県畜産共進会が県畜産試験場を会場に9月5日に開催されることになっており、今回優等賞を受賞した家畜が出品される予定であります。

雇用対策につきましては、職業選択に向けての就職に対する認識を深めるための県南地区職場研修事業が、大曲、横手、湯沢の雇用開発協会の主催により開催され、大曲雇用開発協会管内においては、市内の24事業所のご協力をいただき、高校3年の生徒を中心に延べ172人が参加しております。

また、ハローワーク大曲がまとめた8月20日発表の管内の来春新規高校卒業予定者の求職動向と求人受理状況につきましては、就職希望者数が374人で前年同期に比べ約16%減少となっているのに対し、求人事業所数は29社で前年同期に比べ約47%減少し、求人数は約65%減の74人で大変厳しい状況となっております。

今後は、現下の厳しい雇用情勢に対応する取り組みとして、ハローワークや秋田県、隣接市町と連携しながら、就職面接会の開催や企業が求人しやすいような支援制度等を検討し、雇用創出に結びつく対策を講じてまいりたいと考えております。

県の雇用対策の基金事業活用状況につきましては、ふるさと雇用再生臨時対策基金事業において、現在5事業で25人が新規雇用されており、今後1事業についても委託契約の手続きを行い2人が雇用される予定であります。

また、緊急雇用創出臨時対策基金事業の活用状況につきましては、現在18人が新規雇用されており、9月からは19人が雇用される予定であります。

雇用助成金制度につきましては、7月末日現在で合計129人が新規雇用されておりますが、未だ非常に厳しい雇用環境であることから、緊急雇用助成金制度の対象期間については、本年9月末日までから年度末までに延長し、引き続き雇用の拡大を図ってまいります。

商業振興対策につきましては、大仙市商品券を大仙市商品券事業協議会が4月に2億円を販売しており、好評につき、第2回目として7月10日に1億円を追加販売いたしました。購入者の出足が好調で、ほとんどの販売所が午前中で完売となっております。計2回の販売でプレミアム分を含めた3億3,000万円分の商品券が、使用期限の10月9日までに使用されることから、取扱加盟店の販売拡大と個人消費の拡大につながるものと期待しております。

なお、商品券の利用状況は、8月15日現在で255店舗で利用され、換金

状況は約2億5,000万円となっており、加盟店の売り場面積別の割合としては、1,000㎡未満が4割、地元大型店を含む1,000㎡以上が6割となっている状況であります。

中小企業対策につきましては、厳しい経営環境に対する緊急対策として、昨年12月の経営安定資金利子補給制度の創設や、1月からの融資限度額1,500万円から3,000万円への引き上げなど、中小企業者の資金需要に対応できるよう取り組んでまいりましたが、未だ景気低迷で資金需要が多いことから、いずれも9月末日の終期を来年3月末日までに期間延長し、市内中小企業者の経営安定を図ってまいりたいと考えており、今次定例会に関連経費に係る予算の補正をお願いしております。

夏祭りにつきましては、8月1日、2日の両日に「夏まつり大曲」が行われ、初めての試みとして、丸子橋橋上での「こども樽みこしコンテスト」を実施したところ賑わいを見せたほか、8月15日には「彩夏せんぼく」並びに「ふるさと西仙祭り」、8月16日には「ドンパン祭り」等が行われ、多くの市民の参加をいただき、盛会裡に終了したところであります。

83回目を迎えた全国花火競技大会につきましては、8月22日に国土交通省や秋田県警、秋田県仙北地域振興局、JR東日本、東日本高速道路株式会社、羽後交通株式会社、広域消防本部などの協力のもと開催されました。当日は天候にも恵まれ、昨年を上回る68万人の人出となりました。本大会における交通対策につきましては、市が受け持つ「交通警備部会」を今回から将来の職員数の状況等を見据え組織化された業務に再編し、「安全部会」として取り組んだところであり、土日の高速料金割引の影響による交通量の増加が懸念されておりましたが、各部署との連携により例年よりスムーズな対応ができたものと思っております。今後とも引き続き万全な体制で臨み、安全・安心な大会となるよう努めてまいります。

企業対策につきましては、7月7日に2回目となる「大仙市首都圏企業懇話会」を開催しており、本市出身の首都圏企業と本市に進出している企業の本社・親会社から合わせて30人の参加があり、企業が進出する際にポイントとなる点などを挙げてもらいながら、企業誘致の可能性などについて話し合っていたところであります。

神岡地区で進められている県の新規工業団地整備事業につきましては、本年度から環境アセスメントに取り組んでおり、5月29日から1カ月間、方法書の縦覧を行っております。また、6月3日には、県と市の主催により、全市対象の説明会を神岡農村環境改善センターで開催し、進捗状況や今後のスケジュールを説明したほか、地元自治会長に対して埋蔵文化財調査のための現地立入りに対する協力を呼びかけております。

次に、建設部関係についてであります。

道路整備につきましては、市単独の道路改良工事29路線のうち2路線が完了し、11路線を発注しております。地域活力基盤創造交付金事業4路線及び地方特定道路整備事業1路線については、3路線を発注しており、他路線についても、今後設計業務が完了次第、順次発注の予定であります。

なお、本年1月に債務負担行為を設定した4路線については、全ての工事が完了しております。

本年度6月補正の地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業につきましては、道路改良工事47路線のうち1路線が完了、13路線が発注済みであり、橋梁の塗装工事については、27橋のうち4橋を発注しております。

昨年度2月補正の地域活性化・生活対策臨時交付金事業につきましては、道路維持工事13路線、橋梁維持工事2橋及び区画線工事36路線の全てが完了しており、道路新設改良工事については、36路線のうち25路線が完了、8路線が発注済みであります。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業の建物移転につきましては、大曲中通町地区及び大花町地区の本年度移転対象物件15戸のうち、5戸の権利者と契約済みであり、現在、残る権利者と交渉中であります。

工事関係につきましては、中通こ道橋新設工事をJR東日本への委託工事として平成18年度から4カ年工期で実施しておりますが、本年7月中旬で全ての工事が完了し、現在、全体協定額の精査及びこ道橋施設の引き渡しについて協議を行っております。そのほか、本年度計画の区画道路新設工事及び街区整地工事につきましては、今月中に発注の予定であります。

大花都市再生住宅につきましては、7月に全ての工事を終え7月30日に落

成式を行っており、9月1日から入居が始まる予定で、本年度中には19戸が入居し、入居率は36.5%となる見込みであります。

都市計画マスタープラン策定につきましては、今後の都市づくりに関する方針を示した「大仙市都市計画マスタープラン」の完成に伴い、去る7月24日に計画の周知と市民と行政の協働のまちづくりの意識啓発を目的に、「まちづくりシンポジウム」を開催しております。

大曲駅周辺地区まちづくり交付金事業につきましては、現在、駅東16号線道路舗装工事を施工中であり、進捗率は約54%となっております。また、しあわせ公園及び地域交流センター造成工事につきましては、それぞれ8月中旬に完了しております。

なお、（仮称）高次都市施設地域交流センター新築（建築）工事請負契約締結に関する単行案を今次定例会に上程しておりますので、よろしく願いいたします。

羽後境駅周辺地区まちづくり交付金事業につきましては、荻谷沢線道路舗装工事が7月上旬に発注済みのほか、市営住宅8棟16戸及び駅東地区集会施設の建設工事が今月中に発注の予定であり、年内には完成の予定であります。

神岡地区まちづくり交付金事業につきましては、平成16年度から進めてきた築山の造成、芝生広場、複合遊具を設置した「中央公園」が完成し、去る7月1日にオープンに伴う記念式典とイベントを行っております。

市営住宅の整備につきましては、昨年度に引き続き、地域住宅交付金事業により、西仙北地域の北ノ沢市営住宅2棟4戸の建築工事を7月から順次発注しており、11月末の完成を見込んでおります。また、火災警報器の設置につきましては、昨年にも引き続き、残る住宅14団地（1,529個）全てについて8月に発注済みであり、10月中には設置が完了する予定であります。

また、県の権限移譲の一環として、地域の建築行政サービスの向上を図るため、平成22年度から一般住家等の木造建築物については、本市で建築確認事務等を取り扱う予定であります。建築主事を配置する限定特定行政庁の設置を目指し、現在、都市計画課職員3人を県平鹿地域振興局へ派遣しております。今後、県の指導助言を受けながら、準備事務を本格的に進めてまいります。

公園の整備につきましては、南外ふれあいパークの総合駐車場工事を7月上

旬に発注しておりましたが、先般工事を終え、供用を開始しております。

仙北ふれあい公園の「(仮称)新仙北体育館」建設につきましては、年内の完成を目指して工事を進めており、進捗率は全体の約83%となっております。なお、この体育館の名称につきましては、先般一般公募しており、218点の応募の中から、「大仙市ふれあい体育館」を選定しております。

公共下水道事業につきましては、補助・単独合わせて4地域の管渠整備16件、延長3.7km分を発注済みであります。

農業集落排水事業につきましては、3地区において補助・単独合わせて17件の管路工事、延長6.9kmを発注しているほか、処理施設建設工事につきましては、太田三本扇地区において土木工事1件が発注済みとなっております。

次に、国、県関係工事等についてであります。

神宮寺バイパス事業につきましては、都市計画道路大坪線までの1.7km区間について、11月1日を目途に供用開始する予定と伺っております。

北檜岡地内の南側1.2kmの歩道整備工事につきましては、すでに発注済みであり、9月上旬から工事に入る予定と伺っております。

また、国土交通省では、雄物川の国管理区間に関して、今後概ね30年間の整備目標と整備内容を定めた「雄物川水系河川整備計画」の策定作業を進めているところでありますが、現在、整備計画素案の閲覧や意見の募集、沿川市町村7会場での意見を聴く会を実施しており、こうした住民意見の反映手続きなどを経て、年内には策定される予定と伺っております。

なお、本市での「意見を聴く会」につきましては、8月27日午後7時から大曲交流センターを会場として開催される予定となっております。

大曲橋架け替え事業につきましては、19年度から進められてきた橋脚工事が、本年度完了の予定であり、さらに大川西根側の橋台工事にも取りかかる予定と伺っております。

次に、水道局関係についてであります。

上水道につきましては、大曲橋架け替えに伴う大曲金谷町地区導水管の移設工事、南部流域下水道事業に伴う花館柳町地区配水管の移設工事及び大曲通町

地区配水管改良工事について、それぞれ発注しております。

簡易水道の西仙北地域の大沢郷地区簡易水道施設整備事業につきましては、配水管布設工事第1工区が69%、第2工区が71%の進捗率であり、構造物建設工事については78%となっております。また、配水管布設工事の進捗に伴い、昨年度に引き続き、一部144戸の給水を開始しております。

仙北地域の戸地谷地区簡易水道施設整備事業につきましては、浄水場電気計装設備工事と浄水場機械設備工事を7月上旬に発注しております。

なお、本年は大曲上水道が昭和34年の通水開始以来50周年の節目の年を迎えており、秋の稔りフェアにおける水道事業のPR活動と、11月5日の記念式典を予定しております。

また、本年第2回大仙市議会定例会の議員全員協議会で説明させていただいた上水道料金改定及び簡易水道料金改定に係る条例案については、今次定例会に上程いたしております。

次に、教育委員会関係についてであります。

市内小中学校の学力向上推進につきましては、学習の定着状況の把握・分析及び学力向上施策等に関して検討するため、5月に設置した大仙市学力向上推進委員会が中心となって、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、改善の視点を取りまとめ、これを各学校に配付しております。また、国語、社会、算数、数学、理科、英語の各部会ごとに改善策を取りまとめ、去る8月6日開催の第2回教職員研究集会において事例発表を行うなど、学力向上に向けた教職員の研修が進められております。

異校種間連携につきましては、本市と国際教養大学が締結した「国際交流に関するプログラム協定」に基づき、市内幼稚園、小・中学校で、留学生と園児や児童生徒との交流活動が始まっております。第1期となる5月から7月までの期間においては、市内2幼稚園、7小学校、1中学校で延べ16回実施され、2小学校では大学に訪問しての交流学习が行われております。留学生との交流を深めたことにより、子供たちの外国語や外国文化に対する興味・関心が高まったことに加え、留学生にとっても貴重な異文化交流体験学習の機会となったものと思っております。

また、8月3日には、県内で初めての国際ロボット競技大会中学生部門秋田県大会が大曲工業高校を会場に開催され、本市の中学生も多数参加しております。ものづくりの楽しさに触れるとともに、上位チームは全国大会に出場できることもあって、白熱した競技が繰り広げられたところでもあります。なお、同校では8月19日に小学生大会も行われ、こちらも盛会裡に終了しております。

大曲小学校では、本年度から2カ年にわたり県教委の「チェンジあきた・教育プロジェクト事業」を活用し、「こころひらいてゆめそだてる（コラボスクール構想による人材育成）」を目指して、その道の達人や第一線で活躍する専門家による授業などを実施し、児童の意欲の喚起やチャレンジ精神の向上を図っております。

また、8月11日には本年度1回目の「大仙市中学生サミット」が大仙美郷クリーンセンターにおいて開催されており、本年度もリサイクル・エコ・ボランティアの活動を推進する「REV^レO^ボプロジェクト」を継承し、共通実践事項「空缶・プルタブ・キャップ等の回収活動」を中心とした各学校における環境保全活動の取り組み状況が紹介されたほか、参加中学生による本市の将来を見据えた活発な意見交換が行われております。

大曲中学校屋内体育館建設事業につきましては、本年第2回大仙市議会定例会において議決をいただき、去る6月25日に本体建築に係る工事請負契約を締結したほか、電気設備工事・機械設備工事につきましても、7月10日にそれぞれ工事請負契約を締結したところでもあります。

成人式につきましては、去る8月15日に大曲市民会館で開催し、市内12中学校の卒業生など753人の新成人を祝福しております。

文化財保護につきましては、文化財を通じて本市を理解していただく試みのひとつとして、全国花火競技大会翌日の8月23日に池田氏庭園特別公開を実施し、県内外の多くの方々から鑑賞していただいたところであり、翌24日に行った洋館修復工事の現場見学会におきましても、市民や建設関係者など大勢の方々から参加いただき、文化財の修理・保存の重要性を再確認しております。

また、8月15日、16日には国重要文化財「古四王神社」、8月17日に

は水神社の国宝「線刻千手観音等鏡像」、8月20日には小沼神社の県指定彫刻「聖観世音菩薩像」と「十一面観世音菩薩像」が公開され、多くの見学者・拝観者があったところであります。

神岡西部地区経営体育成基盤整備事業に先駆けて実施していた新山遺跡の発掘調査につきましては、平安時代の掘立柱建物跡や井戸跡、硯・墨書土器等が発見され、内外から高い関心をいただいております。8月8日に実施した現地見学会においても、多くの市民・郷土史家・専門家の参加があったところであります。

協和スキー場のリニューアル工事につきましては、移設予定箇所にある旧リフト3基の撤去が終了し、現在新設リフト支柱の基礎工事とゲレンデの拡幅に着手しており、工事の進捗状況は約35%で、今シーズンの営業に合わせて順調に作業が進められております。

第52回秋田県学校給食研究協議大会大曲仙北大会につきましては、8月4日に大曲市民会館を主会場に開催され、関係者650人の参加をいただき盛會裡に終了しております。

次に、財政状況についてであります。

平成20年度決算における実質収支は、普通会計ベースで8億2,600万円の黒字であります。前年度の実質収支を差し引いた単年度収支では、1,200万円の赤字であり、さらには財政調整基金の取り崩しを除いた実質単年度収支では、6億7,000万円の赤字となっております。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は93.9%で、昨年度より1.6ポイント改善されております。これは、一般職職員の給料削減の協力や、退職者不補充による人件費の削減、公債費の減少などによるものであり、今後も経常的経費の縮減に努め、比率の改善を図ってまいります。

また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき公表が義務づけられている、健全化判断比率のうち実質赤字比率につきましては、平成20年度普通会計決算が黒字であるため該当がなく、また、連結実質赤字比率についても、すべての会計で黒字又はゼロ決算であるため、該当がない状況にあります。

実質公債費比率につきましては、18.9%と昨年度より1.0ポイント上昇しております。この比率は過去3カ年の平均値であることや地方債の償還額がここ数年は大きく変わらないことから、今後数年間は同程度で推移するものと予想しております。

なお、地方財政法においては、18%を超えた場合、起債に際して県知事の許可が必要となるほか、比率の改善に向けた公債費負担適正化計画の策定が義務づけられていることから、現在、作業を進めているところであります。

将来負担比率につきましては、210.2%と昨年度より7.2ポイント改善されております。しかしながら、大仙市及び市が関係する一部組合などが背負っている負債が標準財政規模の約2年分となっていることから、今後も引き続き比率の改善に取り組んでまいります。

また、健全化法第22条に定める公営企業会計に係わる資金不足比率については、いずれの会計においても資金不足が生じていないことから、資金不足比率はゼロになっております。

本市は市税等の自主財源の割合が低く、交付金等に依存している財務体質ではありますが、必要と判断される事業については積極的に実施し、市民が希望を持ち、そして住みやすい大仙市を築き上げてまいります。

以上、主要事業の進捗状況並びに諸般の状況などにつきまして、ご報告申し上げますが、今後とも市民並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。招集のあいさつと諸般の報告とさせていただきます。